

- ◆企画名 音楽とラジオの未来へ向けて
日 程 平成 26 年 6 月 12 日 (木)
場 所 第 1 学舎千里ホール
参加者数 141 名 (ピア・サポーター 7 名、研修生 4 名、一般学生 130 名)
目 的

- ・ラジオの可能性について学び、その面白さや魅力をそれぞれが見出すことによって、本学学生の芸術や文化の視野を広げる。
- ・夢や想いを実現させるために、学生生活をどのように過ごせばよいのか知ってもらう。

内 容

インターネットとの融合によって再価値化されつつあるラジオが、今日の音楽文化にどのような影響を与えるのかに焦点を当て、また音楽産業の創造現場で、想いを形にしてきた方々のお話を聴く。

効 果

企画実施後のアンケートによる調査で集計した回答のうち、「今回の講座はいかがでしたか？」の問いに対し「とてもよい」の回答が 90 パーセントを占める結果となった。
また、自由記述では企画に対して「これから自分の進むべき道を見つけられた気がした。」
「自分の興味のあることに接する講演会が今まで無かったので、このような参加しやすい機会を設けてもらえありがたかった。」などの感想が得られた。

改 善 点 (反 省)

- ・金銭面については早期の段階で詳細まで話し合っておく。
- ・データ共有の場を一つにする。
- ・書類を更新した場合には、古い書類を消去し、常に最新のものにしておく。
- ・事業報告書は早めに提出する。
- ・参加者との質疑応答の時間を長く取る。

感 想

参加者の反応から、普段の講義では聞けないような学びの場を提供する、という目的が達成できたと感じた。一方で、参加者の所属学部に偏りが見られた。このことから、より広範囲の学生に興味を持ってもらう工夫が必要であったと考える。また、ゲストの方と学生が触れ合う機会（質疑応答など）を企画時間内により多く設けるべきだった。今後も既存の枠に過度に捉われないことなく、学生のニーズに合った取り組みを実現していきたい。